

きらめく夢をこの手に抱いて

スマイルハートプラン〜障害者(児)支援団体の紹介〜

vol.1

「2つの日本」を応援しながら…」

年間活動日数80日〜90日、毎週水曜日のスポーツ教室の通算回数が1000回余り。これは、知的障害の方たちで構成している「つくしサークル」の活動実績です。

この実績は、同じような団体などの活動としては、日本一だと思いません。このように、日本一のでか山のほかに、もう一つの日本一が七尾にあることをみなさんはご存知でしたか。

30数年前、知的障害の方たちへの地域ケアを目的にしろいろいろの会は発足しました。当初は、つくしサークルとのキャンプや大運動会の余暇活動を軸に関わりを深めてきました。いろいろな活動を通して、長い年月を過ごす中で、「共に生きる」ことへの努力をお互いに続けています。



大運動会の様子

現在は、つくしサークルの諸活動を応援し、知的障害の方たちへの就職活動・職場対応・日常生活支援などに親、雇用主、福祉関係の方々と連携しながら、「24時間年中無休」で活動をしています

現在の障害者(児)福祉の流れは、施設から地域の中へと大きく変わってきています。

障害のある方たちと「共に生きる」とは…在所の中でみんなと一緒に年をとっていくことと私たちは理解しています。

今月から、新しく障害者自立支援法が施行されます。私たちに何ができるのか、何をすべきなのか、真摯に考え、行動していきたいと思えます。みなさんも、一緒に考えてみましょう。

☆一緒に活動してくださる若い方を求めています。詳しくはお問い合わせください。

しろいろいろの会代表

八崎 和憲 ☎52-2392

「スマイルハートプラン」とは、七尾市障害者計画で定めた「笑顔で支え合う、ともに生きる心」を重視した通称名です。

ひと・人・ヒト

今年の青柏祭の「でか山」本番まであと一ヶ月を切り、4月2日の「むしろ編み」から、5月6日の「山こわし」まで「でか山」漬けて、休みのない日が続いています。

「でか山」では、先人の培ってきた伝統を守り、事故のないように気を配りながら、みなさんにも楽しんでもらえるよう心がけています。

この、青柏祭の「でか山」は、誰でも綱を引くことができ、祭りに参加することができます。

みなさんも、伝統ある青柏祭の「でか山」を体験してください。

実際に綱を引き、山車が動くともまるで、自分ひとりの力によって「でか山」を動かしているように感じることでしょう。思わず力が入り、きつとさらに「でか山」が好きになりますよ。



藤橋 和彦 さん

ふじはしかずひこ

青柏祭の鍛冶町「でか山」に参加して15年、平成15年から世話人頭として、若衆をまとめる。

